

## 希少がんを対象としたターゲット RNA パネル検査の有用性の検証

### 1. 研究の対象

2012 年 1 月～2022 年 4 月に大阪国際がんセンターと後述の研究分担機関で生検・手術や病理診断を受けられた希少がんの方。同様に、2022 年 5 月から 2023 年 9 月までの方を対象とする予定ですが、予定症例数に達した時点で終了とします。

### 2. 研究目的・方法

**目的** 肉腫をはじめとした希少がんの中には、遺伝子異常のひとつである融合遺伝子が原因となる疾患が知られていますが、現状に行われている検査では融合遺伝子を検出するのに十分とは言えません。本研究では、融合遺伝子が原因となる希少がんの診断において、強力な補助手段であると期待される RNA 遺伝子パネル検査の有用性を検証します。

**方法** 病理検査の残検体を用いて核酸を抽出し、RNA 遺伝子パネル検査を行って、融合遺伝子や RNA 発現の状態を調べます。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、病変部位、既往歴等

試料：手術などで摘出された組織等

### 4. 外部への試料・情報の提供

遺伝子検査を担当する共同研究機関への試料の送付は紛失のないよう追跡できる輸送方法で行います。情報は、遺伝子検査に必要な情報のみとし、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。

対象となる患者さんについての画像所見、病理所見、既往歴などの病理学的判定に必要な情報や病理組織標本は、大阪国際がんセンター、東京医科大学、都立駒込病院の研究責任者が、それぞれ管理します。

患者さんと試料・情報を結びつけるための対応表は、提供先の機関には提供せず、大阪国際がんセンター、東京医科大学、都立駒込病院の研究責任者が、それぞれ保管・管理します。

### 5. 研究組織

大阪国際がんセンター ゲノム病理ユニット ユニット長 中村ハルミ

東京医科大学 人体病理分野 教授 長尾 俊孝

都立駒込病院 病理科 元井 亨

株式会社 DNA チップ研究所 研究事業本部 事業開発部 中村 誠二

三井化学株式会社 ライフ&ヘルスケアソリューション事業本部 医療事業推進室  
春田 佳一郎

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、  
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出  
ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

研究責任者：大阪国際がんセンター 研究所 ゲノム病理ユニット 中村ハルミ  
住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69  
電話：06-6958-1181

研究代表者：

大阪国際がんセンター 研究所 ゲノム病理ユニット 中村ハルミ

-----以上